

# 教育委員会が大久保幼稚園を廃園の計画

## 廃園計画は中止を、3年保育・預かり保育の実施こそ必要



大久保幼稚園。創立52年を迎えます。

教育委員会は、現在4園ある公立幼稚園を3園に統廃合し、大久保幼稚園を再来年度末に廃園にする方針を決め、12月定例会に廃園の議案を提案しようとしています。

### 再来年度で大久保幼稚園を廃園

市教委の方針は、大久保幼稚園では来年度（18年度）は4歳児と5歳児を受け入れますが、再来年度（19年度）は4歳児の募集を停止して、5歳児だけで運営します。5歳児の卒業を待つて廃園とする計画です。

神明幼稚園と木幡幼稚園では来年度から預かり保育を試行する計画で、東宇治幼稚園では3歳児からの3年保育も再来年度に実施を試行します。

市議会12月定例会は12月1日から始まり、市教委は方針決定から、2ヶ月足らずで、廃園の議案を提案する方針です。

### 保護者にも地域も説明は無し

大久保幼稚園の廃園の計画は、保護者にも地域の地域にも何も説明なしに決定されま

した。

大久保幼稚園の地域の地域である大久保区は、廃園の方針を受け、市と市教委に抗議をおこない、教育部長は「乱暴と言われても仕方ない。申し訳ない」と説明不足を陳謝し、大久保区からの抗議への今後の対応について、「持ち帰って検討する」としました。

大久保幼稚園の廃園計画を説明した11月9日の文教福祉常任委員会では、党議員が全市民に意見聴取をするパブリックコメントの実施を求め、教育長は「検討する」と答弁しました。

これらの課題が市教委には残っており、12月定例会に廃園の議案を提案することは、市民無視の拙速で誠意のない対応です。

### 廃園止めようと市民の運動広がる

廃園の動きに対して、公立幼稚園の保護者を中心として、大久保幼稚園の廃園をやめて公立幼稚園の4園体制を維持することを求める署名が取り組まれました。

また、幼稚園教諭などの職員も、保護者が集めている署名に賛同し、連日、各地の駅で署名への協力を市民に呼びかけました。

署名には地域の久保区も協力。11月24日に市長と教育長宛に提出されました。

### 3年保育など園児数増やす努力こそ

市教委は大久保幼稚園の廃園の理由を、4園の公立幼稚園の園児数が減っているために、「適正規模・適正配置」をおこなうとしています。

公立園で園児数が減少したのは、市教委が民間園では当たり前になっている、3歳児からの3年保育や、預かり保育など、保護者ニーズの高い施策を実施してこなかったからです。

公立幼稚園の保護者は毎年3年保育や預かり保育の実施を市教委に要望してきました。

日本共産党は、3年保育や預かり保育をおこない園児数を増やす努力こそ、市教委がやるべきことであると指摘してきました。

市民の皆さんと力を合わせて、大久保幼稚園の廃園は中止させるために全力をあげます。